

風水害対策(1)

強風・大雨により気象庁が発表する注意報や警報について

強風注意報	暴風警報	大雨注意報	大雨警報 (土砂災害、浸水害)
強風により災害が発生するおそれがあると予想したとき。 【基準】 平均風速が12m/s	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想したとき。 【基準】 平均風速が20m/s	大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したとき。	大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したとき。

- ・上記に併せて、洪水注意報や洪水警報が発表される場合があります。
- ・台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨・暴風が予想される場合、特別警報が発表される場合があります。

雨の強さと降り方

1時間の雨量 (mm)	10~20	20~30	30~50	50~80	80以上
雨の強さ	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の降り方のイメージ	ザーザーと降る雨	どしゃ降りの雨	バケツをひっくり返したように降る雨	滝のように降る雨 (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある雨 (恐怖を感じる)
影響	雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	がけ崩れ、地すべりが起きやすくなる。	マンホールから水が噴出する。土石流がおこりやすい。	大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

風の強さと吹き方

平均風速 (m/s)	10~15	15~20	20~25	25~
風の強さ	やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
速さのイメージ	一般道路の自動車 (~約50km/時)	高速道路の自動車 (~約110km/時)	特急列車 (約110km/時~)	
影響	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けなくなり、転倒する人もいる。高所での作業は極めて危険。	何かにつかまっていないと立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	屋外での行動は極めて危険。樹木が根こそぎ倒れ始める。

台風

- 日本には毎年多数の台風が接近あるいは上陸し、たびたび大きな被害をもたらします。
- 台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害のないように備えることが必要です。

大きさ	風速15m/s以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m/s以上44m/s未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m/s以上54m/s未満
		猛烈な強さ	54m/s以上

集中豪雨

- 集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。
- 発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。

つねに気象情報には、注意しておきましょう!

